

○第183回肥料・飼料等専門調査会(非公開)

日時：令和4年12月22日(木) 10:45～11:56

議事概要：

(1) 動物用医薬品(次硝酸ビスマスを有効成分とする牛の乳房注入剤(オルベシール))<sup>\*1</sup>の食品健康影響評価について

審議の結果、次硝酸ビスマスを有効成分とする牛の乳房注入剤(オルベシール)は、本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとされた。

<sup>\*1</sup> 動物用医薬品として、牛の乳房(乳頭)内に投与し、乳房炎の発症を予防する目的で使用されます。

(2) 動物用医薬品(マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤(フォーシル))<sup>\*2</sup>の食品健康影響評価について

審議の結果、継続審議となった。

<sup>\*2</sup> 抗菌活性をもつ動物用医薬品として、牛の乳房炎の治療の目的で使用されます。